

建設産業委員会

審査の結果、議案11件について全て可決しました。

◆ 令和8年度勝山市下水道事業会計予算について

新規事業として、伊知地・坂東島地区及び勝山東部地区を対象に農業集落排水処理施設の今後について、存続するか公共下水道に統合するかを判断し、合理的かつ将来負担の少ない施設運営方針を明確化することを目的に「維持管理適正化計画」を策定する業務委託を予定している旨、説明がありました。

採決の結果、原案を可決しました。

委員 人口動態なども考慮しつつ長期的なビジョンで配管やポンプ、施設の更新・統合を検討されたい。

理事者 策定予定の維持管理適正化計画を基に検討していく。

◆ 長尾山総合公園の整備について

理事者からは、都市公園事業「ネイチャーポジティブ公園」の補助事業採択要件を満たすために緑の基本計画の改定を進めており、先般パブリックコメントを実施して特に意見はなかったことから現在3月末の公表を目指しているとの説明がありました。また、令和8年度事業としては1期エリア未買収地の用地購入費と園路・広場等の測量、設計委託料を見込んでいくとのことでした。

委員 パブリックコメントだけで意見を聞くのではなく、ネイチャーポジティブ公園事業について広く丁寧に市民へ説明して、理解を得て事業を進めていくべき。

理事者 広報等で計画の内容を周知し、市民の意見を頂いていく場を作っていきたい。

緑の基本計画は
こちらからご覧
いただけます。



(勝山市HP)

代表質問 議:議員/理:理事者

- 2026年度当初予算について
- 出生届をオンラインで提出することについて

その他の質問

- ・男性が育休を取得する時の「育休カバー手当」について
- ・観光客の増加を見込んでの市の対応について
- ・中学校吹奏楽部の地域展開について



市政会 下道恵子 議員



議 市の2026年度当初予算では給食費の完全無償化など充実した子育て環境の実現に向けての施策が豊富にあるが、既存の地場産業への経済対策や若者への支援（若者が集う場所の誘致など）についてはどんな施策を検討しているのか。また結婚支援体制の強化とはどんな内容なのか。

理 地場産業、企業の賃上げに直接的に結びつける経済対策について、本市では、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき、一定の要件を満たす事業者に対して3年間の固定資産税の課税免除措置を講じるなどにより、企業の「稼ぐ力」を高め働く世代の所得向上につながる環境づくりに取り組む。

若者が集う場所については、宿泊施設の誘致により平日の昼間人口を増やし、魅力的な飲食店の増加につなげるとともに、こども会館等の改修により交流場所を確保する。

結婚支援は、民間アドバイザーによる出会いから成婚、当市への定住までをサポートする伴走型支援やオンライン相談の活用、「ふく恋マッチングシステム」の新登録料助成などを新たに実施しSNS等での情報発信を強化する。各分野の施策を総合的に展開し、若年層や子育て世代に選ばれるまちを目指していく。

議 青森市では条件が整えばマイナンバーカードを利用して医師等が作成した出生証明書を画像データで添付することで市役所まで出向かずに出生届ができる。市でもオンライン提出できるようにならないか。

理 国において、令和8年度中を目途に戸籍情報システムに連携した新しい仕組みのオンライン出生届が全国の自治体で運用開始できるようシステム開発等が進められている。本市においても、導入により各種手続きのオンライン申請が可能となり、子育て世帯の負担軽減につながると考えるため、令和9年度以降の導入について検討を進めていく。